

市民放射線被ばく量調査 結果報告会 Q&A

開催日時 平成24年1月20日(金) 午後7時から10時
開催場所 二本松市安達文化ホール

さる、1月20日に開催しました、上記報告会の際、来場者に質問用紙を配付回収した結果、100問以上の質問がございました。

しかし、当日講話終了が21時30分を過ぎてしまった為、質疑応答は数問程度しか回答できませんでした。
この為、皆様からのご質問に対し、後日関係各課及び佐藤・木村両先生に回答・コメントいただいたものをまとめましたのでご参照ください。

【 留 意 点 】

- ① 質問内容は、質問用紙記載内容の転記を原則といたしました。
設問の主旨がわかるよう一部修正部分もございますので、ご了承ください。
- ② ほぼ同様な主旨の質問は、まとめさせていただきました。(WBCの順番等)
- ③ 回答内容は、庁内照会や専門家チームによるコメント確認等のため、開催時からの時間的なずれがあります。
このため、回答内容は、このQ&A一覧をご覧いただいている時期の状況と異なることが想定されますので、ご了承ください。
最新情報は、関係各課及び市ホームページ、災害対策本部情報紙等により、ご確認願います。
- ④ 報告会資料及び本Q&A一覧は、市ホームページからもご覧いただけます。

《 問 い 合 わ せ 先 》

外部線量バッジに関すること	健康増進課	予防係	電話	55-5109
内部被ばく量調査に関すること	健康増進課	保健係	電話	55-5110
食品等測定・除染に関すること	放射線測定除染課	同係	電話	22-1580
			電話	22-1581
			電話	22-1583
学校給食・プールに関すること	教育総務課	総務係	電話	55-5149

《 目 次 》

外部被ばく・線量バッジ結果について

ページ

1	市計測の空間線量より、個人計測値が高い。現在の積算線量は？	1
2	5月個人計測時より、現在のほうが室内・室外高い。何が原因か。	
3	雪が降ると空間線量があがると聞きますが、空気中に放射線があるからですか。	
4	2階と外の空間線量が変わらないので調査して欲しい。(2階寝室0.9、洋室0.86、洋室0.90等)	
5	家の前の畑は、1.0～1.7μSV、水たまりでは5μSVを超えるところもあります。このままここに住み続けて問題ないのでしょうか。	
6	家の前にため池があるが、そこは大丈夫か。	
7	5歳児でバッジ0.42mSV。同じアパート同年齢児は0.1だったので心配。安全な数値はあるのか。自然放射線200マイクロを引くのは何故か。	
8	子どもの線量が、0.57と0.37。室内線量は、市測定器で0.5～0.8μSVと、バッジ高値者の家庭と変わらない。この数値は本当に正しいのか。	
9	母0.38、長女0.45、長男0.45、次女0.53。家にいる次女が一番高かったので、どうしたらよいか。年間20mSVを超えます。	
10	2歳、7歳、10歳の子どものうち、2歳の子が一番高かった。同じ生活をしているのになぜでしょう。	↓
11	勤務先が小浜だから、自分の平均も0.51mSVなのか。	2
12	子どもが0.58mSVで、年間2mSV超えます。国は1mSVとしていますが、これで大丈夫なのでしょうか。	
13	母0.72、長男0.79、次男0.72。年間3mSVになるが大丈夫か。今回の高値者と同じくらいか。行政として今後どのような対処をしてくれるのでしょうか？	
14	小5の子が0.57で比較的高い方で心配。	
15	0.3の人と1.0近くの人からの影響の違いは。	
16	年間1mSVと5mSVでからだへの影響は同じなのか。	
17	バッジの線量が安全かどうか知りたい。	
18	年間試算1mSVを超えた場合、何かする予定はあるのか。	
19	3ヶ月で0.85mSVで、年間1mSVになるのか。達した場合どうなるのか。	
20	年2mSV以下としても、子どもの感受性の高さを考慮すると安心といえるのか。	
21	まず5mSVとは、どこから出た数値なのか。安全といえる数値なのか。根拠は？	
22	年間5mSV以下で生活するには、何μSV以下の部屋で生活すれば大丈夫か。計算式を知りたい。	
23	資料10ページの2・3・4番のバッジ高値者について説明がされていない。市としてこの3人は安全だと考えているのか。対策は。	
24	自主避難者と、そうでない子供たちの積算量を比べた平均の数値が知りたい。	
25	もっと細かいデータが欲しい。(0歳児平均、1歳児平均など)	↓
26	子ども達の積算値が考慮されていない。大人の何倍と見るのがよろしいのか。	3
27	核種が測定されていない。	
28	今回の汚染マンションの件で、大変有意義な検査だと思いました。	
29	年間被ばく数値の計算は、3～8月の数値は入っているのか。この時期の線量が多いと思われるので知りたい。年間5mSVには初期の分も入っているのか知りたい。	
30	ガラスバッジは1ヶ所で計っているが、放射線は全身で受けているので、誤差があり、もっと数値が上がるのではないかと心配です。	
31	ガラスバッジと、ポケット線量計との測定値に差があるのか。24時間連続測定にポケット計は有効か。	
32	ガラスバッジの意味はあるのか。コストは高いが現時点を調べられるデジタル式の方が良いのでは。	
33	9ヶ月の子どもに常時線量計を身につけるのは不可能に近い。もっと良いものが無いのか。	
34	今後、バッジの配付予定はあるのか。	
35	子ども、女性以外にもバッジ配付してほしい。成人男性に対しての調査はあるのか。いつ頃実施か。	
36	市で3ヶ月で終了しているのはなぜですか。測定期間の違いはなぜですか。	↓
37	福島市や本宮市、須賀川市は現在もバッジ測定中。二本松も定期的に実施して欲しい。	4
38	年間被ばく数値の計算方法が市町村により違うのは何故か。	
39	震災前の自然被ばくとの差を知らせていただかないとわからないと思う。今後の行動も考えなければならぬし、子どもの行動を制限されていたので、思ったより高かったので、不安感が増した。	
40	半年くらい線量の低いところに行くだけでも効果があるのか。	
41	2階の屋根の上に布団を広げて干して大丈夫でしょうか。外の空間線量は1mSV。	
42	保育所・幼稚園でも外で遊ばない。どのくらいの数値になれば遊んでも問題ないのか。	↓
43	今の居住地に住んでいて良いのでしょうか。8か月児がいるが健康被害は無いのか。	

内部被ばく・ホールボディカウンター (WBC) 結果について

ページ

44	いつ頃、市民全員がWBC受けられるのか。優先順位は？早くして欲しい。台数を増やして欲しい。	4
45	1歳児いる。簡易なものでよいのでWBC測定できないか。	↓
46	3歳3ヶ月の子も調査して欲しい。体内に入ったものはどう出せば良いか。	↓
47	石井地区は、空間線量、バッジ結果も市の中ですべて高い数値であるのに、いまだにWBC受けられない。普通は高いところから調べるべき。	5
48	自主避難で、調査実施時期にいない時も調査を受けられるのか。	
49	心配な人はいつ受けられるのか、その後指導は受けられるのか知りたい。	
50	12月に大玉村に転居したがWBC対象になるのか。2歳児でWBCできないか。	
51	子どもが高3のため、他県に転出予定。転出後だと交通費かなりかかる。何とかありませんか。	
52	同位体研究所でWBC依頼した。市の予算で今後補助予定はしているのか。	
53	25歳以上が24年度では遅すぎるのではないのでしょうか。2年たってからあなたは多いと言われても困ってしまうのでは。	
54	福島で自分のWBC、セシウム137不検出(600以下)、134は730ベクレル有。子ども実施したが、8歳以下は正確な数値でないと言われ結果出力なしだった。子どもは高い数値出ると言われるが何故か。	
55	同じ食事をしている夫は、WBC不検出でした。職場はコンクリートですが、関係ありますか。	
56	小6の子ども、セシウム137が172、134が219ベクレルで、3ヶ月で半減するとのことですが、今後の生活で何をしたら良いのか。このまま数字は増え続けるのか。大人になってからのことが心配です。	↓
57	6歳の子が両方数値が出たので心配。入ったものを出すのにはどうしたらよいか教えてください。再検査はいつ頃受けられますか。	6
58	4歳の子は、134のみ数値が出た。誤差の範囲で0と言われたが、本当に信じて良いのですか。	
59	結果に±の表記があって数値がわかりません。	
60	検出下限値を超えた19人の預託実効線量は？安全か？	
61	母親の内部被ばくが、0.6mSV程度で、震災後生まれた子供を母乳で育てていますが、子どもの外部被ばく、母乳からの内部被ばくはどうでしょうか。	
62	数値に目安はあるのか。友人の妻が、妊娠7ヶ月で被ばくして(生まれた子どもに?)心臓に穴が開いていたのですが、確率について教えてください。	
63	500ベクレル検出された場合、それは何SV被ばくしたことになるのか。その計算は、減っていくものとして計算しているのか、計算する上での前提条件を知りたい。	↓
64	ベクレルで報道されますが、どう危険なのか教えていただきたい。	7
65	数値が高い場合は、どんな対策が必要ですか。現在妊娠中です。効果的な対策はありますか。	
66	大人と子どもと分けて危険値を設定しているのか、同じなのか。	
67	3月12日～20日までの初期被ばくを調べようとしな。一番高い時期のセシウム放出時期から89日過ぎている。正しい被ばく量になっていない。	
68	本宮市は、子ども・大人も200ベクレル以下は数値を教えてもらえないと聞いている。当市はどうか。	
69	今後継続的に受けるようになるのですか。	
70	再測定は、いつ頃になるのか。定期的な間隔は。	
71	障害児の為、3分じっとしていられないが、どのような対策をとるのか。	
72	測定時動いてしまうとちゃんと測れません。	
73	県民健康調査を書いていないと受けられないのか。	
74	舞い上がりによる吸入被ばくはどうか。	
75	朝日新聞に京大研究で内部被ばく4ベクレル…と出て、1/10以下で安心OKのようにありましたが、外部被ばくもある福島の人に、1/10以下で、安心と言い切れるのか。	↓
76	スギ花粉のシーズンにはどのような対応をされるのでしょうか。	8

除染・給食・生活・その他について(一部外部・内部被ばく項目あり)

ページ

77	福島市で測っている定期降下物が増えているが、マスクはしたほうが良いのか。	8
78	年末～年始にかけて、空気中のセシウム量が増加しているとのことだが、洗濯物は外干しすべきでは。	
79	これから、市民全員に健康手帳などを作ってもらうことは可能か。	
80	チェリノブイリ事故の低線量地域のデータは無いのですか？	
81	チェリノブイリ事故の健康調査について、被ばくした本人のがん発生率は理解できました。今後、結婚・出産した子供について、奇形や遺伝子異常等の発生等について、教えていただきたいです。今、中学生の子どもの結婚・出産を心配しています。	
82	妊娠・出産について、先天性疾患・奇形の増加は報告されていないのか？	
83	福島県において、子供を生み育てることに何の支障も無いのでしょうか？有るとすればどんな点か。無いとすればその事を広く伝えて欲しいです。	
84	これから妊娠可能性のある女性についての被ばくの影響をどのように考えてよいのか。	
85	3月15日二本松、3月21日は千葉で被ばくしてしまった。1歳の子が心配。24時間換気システムを回しても良いか。	
86	24時間換気システムの家に住んでいる。	▼
87	甲状腺機能低下症があるが、影響はあるのか。今後の健康診断はどうすればよいのか。	9
88	小3の子ども肺炎などによりX線撮影した場合、同じように被ばく量があったということか。今からでも、県外に避難すれば、今までの被ばくを改善できるのか。	
89	この先ずっと県内で生活していくことが不安。10年・20年と長期で考えた場合、事故以前より受ける放射線の積算はどんどん増えていく。年間1mSVは、50年住み続けて50mSVでも大丈夫というこか。	
90	地域で除染作業をしたが、完全に任せるのではなく除染指導できる人間を派遣してもらえないか。お金を出せば良いというのではなく、お金を無駄なく使える体制を整えて欲しい。	
91	除染の回数を増やして欲しい。	
92	民家の除染が今年からスタートするとのことですが、いつ、どの地区からですか。早く家の除染をしてほしい。家の中0.4μ、外1μSV。家の中もなかなか減らない。	
93	ゼオライトの無料配布。一般家庭の除染も早く行って欲しい。いつまでに行うか明確にしてほしい。	
94	通学路に対して何もされていない。	
95	家屋内線量0.2～0.3になった後、どんなに掃除しても変わらない。今後線量低下の為にどんな方法があるか。	
96	水の検査でヨウ素・セシウム不検出となっているが、その他のアメリシウムやストロンチウム等が入っている恐れが無いのでしょうか。	
97	食品・環境放射線測定器が各家庭で1個必要と考えますが、ぜひ実現してほしい。	
98	市の簡易測定で、水道水が40ベクレルあるのだから大丈夫か。	▼
99	市の無料の食品測定は大変助かっています。市内生産限定のようですが、3月15日のブルームの拡がりなどを考慮すると、栃木・茨城・群馬などの農産物も不安なものです。知人からの贈答品なども測定してもらえないか、孫と一緒に食事のため、切実です。	10
100	給食の安全性の確保について、考えを聞かせて欲しい。	
101	24年度の学校のプールの使用について心配です。	
102	食べ物、ベクレル表示をして、県外産ももっと売ってほしい。肉も国産表示のみでなく、市まで書いて欲しい。	
103	希望者には自主避難の補助を出して欲しい。期間限定、県内でもいい。石井地区は特に高いので、このまま住んでいて良いのか悩んでいます。空間線量が高いので、先行地域にしてほしい。	
104	年間概算で1mSVを超える人が多数だが、これは法律違反である。国や東電の対応が不誠実で許されることではない。市民の声として税金を納めている者として強く訴えて、泣き寝入りをしないようにしたい。そうでなければ税金を納めたくない気持ちで一杯だ。	
105	国、東電に対して市長、特に県知事はおとなしすぎる。	▼

質問 No.	質問 内 容	地区	性別	年代
1	市計測の空間線量より、個人計測値が高い。現在の積算線量は？	油井	女	30
個人測定と市測定との空間放射線量が違うとのことですが、血圧計などと同様、機器により数値の誤差(大きい場合は30%以上)があります。特に低線量のμSVレベルでの小数点以下数値の上下は一喜一憂しないようにしてください。 市使用のものは正しい数値であることの検査(校正)済みですので、個人所有のものと同時に測定してみて、機器の特徴を把握することが重要です。 平成23年3月12日から12月8日まで(272日間)の積算線量の推計値が、二本松市役所5.8mSv/年、安達支所2.9mSv/年となっています。(市災害対策本部情報第21号を参照ください。)なお、この推計値は屋外活動時間8時間として計算していますので、個人ごとの正確な積算ではありません。				
2	5月個人計測時より、現在のほうが室内・室外高い。何が原因か	油井	女	30
実際の数値の違いがわかりませんが、測定機器の誤差、測定方法の違いなどにより、多少の違いはあります。水の流れや、落ち葉など季節変動に伴う放射性物質の移動も考えられますので、詳細測定をお勧めいたします。				
3	雪が降ると空間線量があがると聞きますが、空気中に放射線があるからですか。	上川崎	女	30
現在、空気中の放射性物質はほとんど無い状態です。一般に雪は積もると遮へい効果があり、線量が下がるとも言われています。しかし、降雨時と同様に、雪解け水が集まる水溜り、排水枒、側溝又は雪の吹き溜まる所などは空間線量値は高くなると予想されます。				
4	2階と外の空間線量が変わらないので調査して欲しい。2階寝室0.9、洋室0.86、洋室0.90など			
調査すべきと思いますが、質問紙に連絡先記入なく対象者が不明です。ご相談ください。				
5	家の前の畑は、1.0~1.7 μSV 、水たまりでは5 μSV を超えところもあります。このままここに住み続けて問題ないのでしょうか。			
測定器はどんなタイプ(GM計数管か、シンチレーション式か)。測定方法は高さ1mが基準ですが、どの高さの数字でしょうか？ 今回バッジ測定した結果は、殆どの方が年間5mSv以下でしたが、この被ばく量の範囲を長期間に被ばくした場合の人体への影響は確認されていません。国際放射線防護学会(ICRP)では、福島原発事故後も住民が住み続ける場合は1~20mSv/年を限度とし、長期的には1mSv/年未満を目指すべきとしています。 これらを基に市放射線専門家チーム(アドバイザー)の先生方の助言を受け、「二本松市放射能汚染から市民を守るための健康管理計画」で、被ばく線量低減目標として「年間5mSv以下とし、できるだけ早い時期に年間1mSv以下を目指す」としています。今後、現状をよく把握して除染等による外部被ばく量の低減化や食物・飲料水等による内部被ばく量を下げる対策が必要と思います。				
6	家の前にため池があるが、そこは大丈夫か	杉田	男	30
どのような構造の池なのか不明ですが、放射性物質は底に沈みますので、水深が深い場合は水で遮へいされて、地上には放射線が出てこないと思われます。しかし、池周辺が土手、草で覆われている場合は、除草し処分するなどの除染対策が必要と思われます。				
7	5歳児でバッジ0.42mSv。同じアパート同年齢児は0.1だったので心配。安全な数値はあるのか。自然放射線200マイクロを引くのは何故か	上川崎	女	30
同じアパートでも、居住階が違う、住んでいる部屋が違う(山に近い、道路に近いなど)、生活状況等の差により線量が違います。生活状況を振り返り、低減化を進める必要があります。また、今回の原発事故の有無に関わらず、自然界には地中や宇宙からの放射線が存在するため、原発事故による被ばく量がわかるよう、線量バッジ測定と同時に期間中にコントロールバッジにより測定した数値200μSv分を差し引きしました。(医療従事者の被ばく量計算時も同じ考えです)				
8	子どもの線量が、0.57と0.37。室内線量は、市測定器で0.5~0.8 μSV と、バッジ高値者の家庭と変わらない。この数値は本当に正しいのか。	石井	女	20
サーベイメータによる空間線量率の値は1時間当たりの測定値($\mu\text{Sv/h}$)です。今回の測定は3月間の実際の積算測定ですので、同じ程度の室内空間線量であっても、屋内外での行動範囲や滞在・活動時間などの生活パターンにより変動いたします。このため、より個人の実生活を反映した被ばく線量が測定できていると考えられます。				
9	母0.38、長女0.45、長男0.45、次女0.53。家にいる次女が一番高かったので、どうしたらよいか。年間20mSvを超えます。	太田	女	30
今回の測定は3月間の積算測定ですので、同じような環境と生活パターンが続くと仮定した場合、0.53mSvの測定値は1年間あたりに換算するときは測定値を4倍した値となり、2.12mSvとなりますので、20mSvは超えません。在宅児が比較的高い点については、次の回答参照ください。				
10	2歳、7歳、10歳の子どものうち、2歳の子が一番高かった。同じ生活をしているのになぜでしょう。	油井		
被ばく線量は、空間線量率の値とその場に滞在した時間によります。今回の測定は3月間の積算測定で、その期間の屋内外での行動範囲や滞在・活動時間などの生活パターンによるものです。このため、より個人の実生活を反映した被ばく線量が測定できていると考えています。2歳児が他の方より長く屋外に滞在しているとは考えにくいので、日中小学生は遮へい率の高いコンクリートの学校で過ごしている為、学校より自宅内の空間線量率が高いことが想定されます。 バッジの数値が高い場合は室内空間線量測定をお勧めいたします。そして、日中過ごす場所は、数値低い1階や家の中央、寝る時も窓際を避けるなど、過ごす場所に注意しましょう。				

11	勤務先が小浜だから、自分の平均も0.51mSVなのか	二本松	女	20
被ばく線量は、空間線量率の値とその場に滞在した時間によります。今回の測定は3月間の積算測定で、その期間中の屋内外での行動範囲や滞在・活動時間などの生活パターンを反映していますので、より個人の実生活を反映した被ばく線量が測定できていると考えられます。 主たる生活や仕事の時間の多くを占めた、勤務先の空間放射線量値を反映したものと思われます。				
12	子どもが0.58mSVだった。年間だと2mSV超えます。国は1mSVとしていますが、これで大丈夫なのでしょうか。			
13	母0.72、長男0.79、次男0.72。年間3mSVになるが大丈夫か。今回の高値者と同じくらいか。行政として今後どのような対処をしてくれるのでしょうか？			
14	小5の子が0.57で比較的高い方で心配。	木幡	男	60
15	0.3の人と1.0近くの人からだへの影響の違いは	大平	女	20
16	年間1mSVと5mSVでからだへの影響は同じなのか			
17	バッジの線量が安全かどうか知りたい。			
18	年間試算1mSVを超えた場合、何かする予定はあるのか。	石井	男	40
19	3ヶ月で0.85mSVで、年間1mSVになるのか。達した場合どうなるのか			
今回の測定は3月間の積算測定ですので、1年間あたりに換算するときは測定値を4倍した値となります。 今後と同様な環境と生活パターンとした場合、0.58mSvの方は年間2.32mSv、0.57mSvの方は、年間2.28mSvとなります。 1.0mSvの方は年間4.0mSv、0.85mSvの方は3.4mSvとなります。 今回測定した結果、ほとんどの方が年間5mSv以下でしたが、この被ばく量を長期間被ばくした場合の人体への影響は確認されていません。 ICRP(回答5参照)では、福島原発事故後も住民が住み続ける場合は1～20mSv/年を限度とし、長期的には1mSv/年未満を目指すべきとしています。 今後、現状をよく把握して除染等による外部被ばく量の低減化や、食物・飲料水等による内部被ばく量を下げる対策が必要となります。 市においては、今後除染実施予定ですので、各ご家庭でも、家の周りの清掃・除染などできる範囲の軽減に努めてください。なお、そのような対策をとった後の変化を見る為、前回測定後約6ヶ月を目安に線量バッジによる再測定予定です。				
20	年2mSV以下としても、子どもの感受性の高さを考慮すると安心といえるのか	岳下	女	40
当市では、放射線の数値に関する考え方はより厳しく考慮し、数値等はすべて公表するという事で情報公開に努めております。 しかし、事故後1年を経過していないこと、低線量の被ばくの長期間の影響が不明なこと、原発の状態も不明な点が多い等、まだ安心できるかどうか判断できない状況と考えております。				
21	まず5mSVとは、どこから出た数値なのか。安全といえる数値なのか。根拠は？			
国際放射線防護学会(ICRP)では、福島原発事故後も住民が住み続ける場合は1～20mSv/年を限度とし、長期的には1mSv/年未満を目指すべきとしています。しかし、低レベル被ばくの場合の人体への影響については不明とされています。 市においては、「二本松市放射能汚染から市民を守るための健康管理計画」で、被ばく線量低減目標として「年間5mSv以下とし、できるだけ早い時期に年間1mSv以下を目指す」ことによります。 なお、市放射線専門家チーム木村先生が、昨年チェルノブイリ緊急事態省第一副大臣との会談で、同国の経験より、事故直後は、避難のメリット・デメリットなどを総合的に判断し、初期被ばくを除き年間5mSv以内が望ましいとの発言を聞きこれを取り入れました。				
22	年間5mSV以下で生活するには、何μSV以下の部屋で生活すれば大丈夫ですか。計算式を教えてください。	太田	男	30
その方の生活スタイル(周囲の空間線量値、仕事の有無、外活動時間や場所、住居のつくりなど)により全く違います。ご本人の生活状況と、生活する場所の各線量がより詳細に分かれれば、ある程度の試算は可能です。				
23	資料10ページの2・3・4番のバッジ高値者について説明がされていない。市としてこの3人は安全だと考えているのか。対策は。			
低線量の長期間被ばく時の人体への影響は確認されていないので、現時点で市としての安全判断はしておりません。ご家庭には、生活や家屋、地形等を考慮して、今できる除染、生活の工夫(寝る場所を変えるなど)等をお勧めいたしました。				
24	自主避難者と、そうでない子どもたちの積算量を比べた平均の数値が知りたい。			
測定値が0.01mSv未満の方を確認したところ、県外等に自主避難されている方もいました。 自主避難者と比較すれば数値が高値となることは確実ですが、バッジによる測定は、現在の市内の外部被ばく線量を測定するものであること、市において自主避難者のすべてを把握していないことなどにより、申し訳ありませんが比較分析はできません。				
25	もっと細かいデータが欲しい。0歳児平均、1歳児平均など			
全体分析いたしますと、積算線量の差は、年齢別の差ではなく、地域や生活行動によるものが大きいと分析されておりますので、現在のところ、1歳刻みの年齢で分析するメリットは見受けられませんので分析予定はありません。				

26	子どもたちの積算値が考慮されていない。大人の何倍と見るのがよろしいのか	石井	男	50
外部被ばく線量は、大人の被ばくの何倍とするものでなくそのままの数値です。 なお、残念ながら、事故直後から8月までの積算線量は計算値となりますが、県民健康管理調査の行動記録を県に提出しますと、滞在先別の空間放射線量や滞在時間を考慮して、個別に積算線量を推計いただけますので、これからでも提出しましょう。				
27	核種が測定されていない。	石井	男	50
ガラスバッジは、X、γ、β線を測定するタイプです。現在多く拡散しているのは、セシウムとされておりことからγ線を測定しております。 バッジ測定の目的は核種の同定ではなく、外部被ばくの実態を知り、除染や生活改善につなげることです。				
28	今回の汚染マンションの件で、大変有意義な検査だと思いました。	塩沢	女	60
今回の発見は、高めの数値の方に生活状況を詳細に伺い、室内等の空間線量を詳細測定したことにより、今後の被ばく量を軽減する対策が検討できたものです。皆様も、結果の細かい単の数値に一喜一憂するのではなく、低い方との生活の違いがどこにあるのかご確認ください。 今後は個人や家庭・地域でできること、行政がすべきことは何かを検討・実践し、再測定までに改善することが重要です。				
29	年間被ばく数値の計算は、3～8月の数値は入っているのか。この時期の線量が多いと思われるので知りたい。年間5mSVには初期の分も入っているのか知りたい。	二本松	女	60
23年度の年間被ばく線量については、3月～9月までの空間線量の積算値が不明ですので積算できません。 昨年9月の災害情報紙には各支所など空間放射線量測定地点の積算値の試算が掲載されております(室内0・5:室外1・0。外活動8時間)が、あくまでも参考レベルです。このため、年間5mSVの目標は23年度事故当初からのものではありません。				
30	ガラスバッジは1ヶ所で計っているが、放射線は全身で受けているので、誤差があり、もっと数値が上がるのではないかと心配です。	岳下	女	50
今回使用した測定器は、ある空間線量率の場所に人が滞在した時の、全身の被ばく線量に相当する量として測定されています。 これは放射線業務従事者と同様な部位で測定いただいており、正しく着用した場合が前提ですが、過小な測定結果とならないように安全側に立った厳しい評価をしております。 放射線業務で特定の部位(手作業の場合リング型で測定するなど)に装着することがありますが、通常は必要ありません。				
31	ガラスバッジと、ポケット線量計との測定値に差があるのか。24時間連続測定にポケット計は有効か。	二本松	男	50
32	ガラスバッジの意味はあるのか。コストは高くても現時点を調べられるデジタルカウンターの方が良いのでは	油井	男	20
被ばく線量は、空間線量率の値とその場に滞在した時間によります。今回の測定は放射線専門家チームより、積算数値を分析するには、空間放射線量が低いところもあることから、3ヶ月間という長期間の積算測定を勧めていただきました。 このため、期間中の屋内外での行動範囲や滞在・活動時間など、個人の実生活を反映した被ばく線量が測定できました。 デジタル式は電池で動作し常に数値が確認できるメリットはありますが、誤ってすぐリセットされてしまう恐れがある、携帯電話・電子レンジ・大型店舗のゲートなどの電磁波の影響を受けやすい、毎日数値記入が必要等で、このような長期間の測定には不向きです。なお、適切に測定すれば測定結果は同等です。 また、対象者数が多いためコスト面(バッジは1個約千円のところデジタル1個約3万円×1万人以上)で多額のお金がかかること、一度に必要な数量を確保するのが難しいなどの現状です。				
33	9ヶ月の子どもに常時線量計を身につけるのは不可能に近い。もっと良いものが無いか。			
乳幼児が首かけ式で測定することが難しい場合、腰周りにゴムで装着するなどでも問題は有りません。又一緒にいる時間が多い母親等が代わりに身に着け測定する方法もあります。				
34	今後、バッジの配付予定はあるのか			
前回測定後、おおむね半年後に再測定を予定しています。				
35	子ども、女性以外にもバッジ配付してほしい。成人男性に対しての調査はあるのか。いつ頃実施か	杉田	女	30
県事業では放射能の影響を受けやすいとされる中学生以下の子ども及び妊婦が対象者となっていますが、当市独自に更に拡大し18歳までの男女、40歳までの女性(妊娠の可能性があるため)を対象者としています。男性の測定については、今後専門家チームと再度協議予定です。				
36	市で3ヶ月で終了しているのはなぜですか。測定期間の違いはなぜですか。	岳下	男	30
当市では放射線専門家チーム(アドバイザー)の先生から、空間放射線量が低いところもあり、短期間では下限値以下で線量表示ができない場合もあるため、連続して3ヶ月間測定しより正確な数値を求め、対策に生かすべきとの助言を受け実施しました。 また、次回の測定をおおむね測定終了6か月後に再測定予定です。				

37	福島市や本宮市、須賀川市は現在もバッジ測定中。二本松も定期的実施して欲しい。			
今年度については終了しましたが、おおむね6ヵ月後に再測定予定です。 なお、血圧値等と同じように、測って実態を知ることが重要ですが、測るだけでなく、その後、出た数値の原因を分析し生活の振り返り・改善をすることが重要です。				
38	年間被ばく数値の計算方法が市町村により違うのは何故か			
外部被ばく量の測定方針を決定後、県の補助事業として、中学生以下と妊婦への補助提示がありました。しかし国や県から、積算方法・測定期間、基準値やフォロー体制等の提示はありませんでしたので、各市町村により様々な実施方法となっております。 当市においては放射線専門家チームの助言により実施しております。				
39	震災前の自然被ばくとの差を知らせていただかないとわからないと思う。今後の行動も考えなければならないし、子どもの行動を制限されていたので、思ったより高かったのも、不安感が増した。	旭	女	30
今回の測定値は自然界の宇宙線、地殻放射線と大気中放射線の線量を差し引いています。すなわち、事故による放射性物質からの放射線からの被ばくを測定しています。事故前の自然放射線量は、日本では年間平均約1.5、世界平均では2.5mSv(放射線医学総合研究所資料より)と言われており、国内でも西日本のほうが1.5倍程度高いと言われております。 今回測定した結果は、ほとんどの方が年間5mSv以下でしたが、この被ばく量の範囲を長期間に被ばくした場合の人体への影響は確認されていません。 国際放射線防護学会(ICRP)では、福島原発事故後も住民が住み続ける場合は1～20mSv/年を限度とし、長期的には1mSv/年未満を目指すべきとしています。 まずは、きちんと現状をよく把握して、除染等による外部被ばく量の低減化や食物・飲料水等による内部被ばく量を抑える対策が必要となります。				
40	半年くらい線量の低いところに行くだけでも効果があるのか			
外部被ばくの低減、内部被ばくの抑制効果は十分あると思います。				
41	2階の屋根の上に布団を広げて干して大丈夫でしょうか。外の空間線量は1mSV。	大平	女	50
家屋及び周辺を除染して線量が低ければ問題ありませんが、現状では屋根に付着した放射性物質が残っていると考えられますので、屋根の上に布団を広げて干すことはお勧めしません。				
42	保育所・幼稚園でも外で遊ばない。どのくらいの数値になれば遊んでも問題ないのか。			
園庭等の除染が進んでいるかと思いますが、施設によっては、外遊びをしていないところもあるようです。今後各施設に設置予定のモニターによる空間放射線量を確認しながら、外で遊ばないストレス、運動不足等による子どもへの影響と、外部被ばく量の試算等を総合的に判断することが重要です。				
43	今の居住地に住んでいて良いのでしょうか。8か月児がいるが健康被害は無いのか	杉田	男	30
市民皆同じような不安を抱えている状況ですが、測定値が不明のため回答できません。まず、空間線量等を測定し現状を把握してください。状況に応じた適切な対応と除染が重要です。				
44	いつ頃、市民全員がWBC受けられるのか。優先順位は？早くして欲しい。台数を増やして欲しい。	10名以上より質問有		
45	1歳児いる。簡易なものでよいのでWBC測定できないか	油井	女	30
46	3歳3ヶ月の子も調査して欲しい。体内に入ったものはどう出せば良いか。	石井	女	30
24年度のWBC測定計画を広報3月号に掲載いたしましたので、ご覧ください。 WBCは機器の値段だけでも数千万円、設置費用含めると億単位の費用が必要となります。 当市においては、避難指示区域にもなっており、費用の補助も無い状況です。国などに市から再三支援を要望しておりますが、回答はありません。「東電に請求する」といっても補償される見込みは低く、何よりその財源は、皆様の税金です。 市民の健康管理のためには、まず実態把握が必要ということで、市独自に導入を決めたものでありますが、WBCはもともと原発作業員の被ばく管理や大量に被ばくした場合、緊急被ばく医療が必要かどうかの判断をするための機器であり、当市レベルの空間放射線量下で、少量の被ばく値を正確に測るとことは困難な機器であります。 そこで、当市では、将来問題となる可能性があるレベル(例：預託実効線量が1mSV以上者)の方を見逃さないスクリーニング検査として位置づけております。このため、限られた市の予算の中で何とか対応している状況でございますのでご理解いたします。 なお、当市においては、3月より放射線専門家チームの木村先生を通じ、国内放射線測定の第一人者である岡野真治(まさる)先生が開発・保有し、チェリノブイリでも測定実績がある、乳幼児も測定可能な携帯型のWBC(世界に数台しかない非売品)を借用し、測定開始見込み(無料)ですので、もうしばらく待ち願います。(避難指示市町村民でもまだまだ未実施の状況でございます。) また、台数を増やしても測定できる診療放射線技師、分析していただく専門家がいないと意味がございません。 診療放射線技師や第1種放射線取り扱い主任資格者で、測定に従事いただける方をご存知でしたら、市担当課にお知らせ願います。(複数体制になれば、時間の延長や土日の対応も計画でき、測定数も大幅に増やせる見込みです。) なお、分析評価にご協力いただいている先生方(茨城県立医療大学佐藤斉先生、獨協医科大学木村真三先生)は、無報酬でとの申し出(旅費・宿泊費のみ支出)をいただき、連日夜中まで分析・指導でご協力いただいておりますので、ご理解願います。(広島大学星先生、長崎大学高辻先生も無報酬です)				

47	石井地区は、空間線量、バッジ結果も市の中ですべて高い数値であるのに、いまだにWBC受けられない。普通は高いところから調べるべき	石井	女	20
8月のメッシュ調査において、石井地区は国や県の詳細調査対象外の空間線量でしたので、11月からの先行地区には入っていませんでしたが、ご指摘のように現在空間線量が高い状況のため、1月より石井地区の幼児がいる家庭より測定を開始しておりますので、もうしばらくお待ち願います。なお、3月より子どもも測定可能なWBCも平行実施予定です。				
48	自主避難で、調査実施時期にいない時も調査を受けられるのか。		女	20
ご案内した日時で不都合な場合は、可能な範囲で調整しておりますので、測定センターにご相談願います。				
49	心配な人はいつ受けられるのか、その後指導は受けられるのか知りたい。	渋川	女	50
空間放射線量値が高めの方やお子さんを優先に測定しておりますが、心配な方は、その理由(毎日食べていた米が汚染されていたとわかった。線量高い地区でないが、爆発した日以降水汲みに何日も長時間並んだなど)年齢等、個別にご相談ください。 なお、このような状況の方も必要時測定しておりますが、測定結果については1月10日まで実施分で、高い方でも、実際に今後50年間(子どもは70歳まで)どれだけの被ばく量になるのかを試算した「預託実行線量」は0.3mSv程度でした。(3月15日に大量に吸い込んだ量を、さかのぼって計算しております)				
50	12月に大玉村に転居したがWBC対象になるのか。2歳児でWBCできないか	大玉村	女	20
51	子どもが高3で他県に転出予定。転出後だと交通費かなりかかる。何とかありませんか。	渋川	女	40
WBC対象者名簿は、9月末の市民名簿が基本となっております。しかし、常時転出入があるため、基本的には、測定時市民である方が優先ですが、転出先で測定予定が無い場合は対象としております。指定日不都合な場合は、帰省時(平日)に測定するなど、測定申し込みの際、個別に測定センターにご相談願います。 なお、大玉村では、本宮市に委託して測定計画されているようですのでそちらでご相談願います。				
52	同位体研究所でWBC依頼した。市の予算で今後補助予定はしているのか			
市独自の6月の先行調査や避難指示区域のWBCの結果を見ても、緊急性のある数値は出ておりませんので、なるべく早めの測定に心がけておりますが、計画どおり市測定センターで測定予定です。申し訳ございませんが、独自調査による補助は計画しておりませんのでご了解願います。				
53	25歳以上が24年度では遅すぎるのではないのでしょうか。2年たってからあなたは多いと言われても困ってしまうのでは。			
さきの回答同様、早期の測定に向けて努力しておりますので、ご理解願います。なお、原発事故後の吸入による内部被ばくについては、ご指摘のとおりでございますが、飲食物による経口摂取については、今後も問題となってまいりますので、継続した測定が必要との助言をいただいております。				
54	福島で自分のWBC、セシウム137不検出(下限値600以下)、134は730ベクレル有。子どもも実施したが、8歳以下は正確な数値で無いといわれ結果出力してもらえなかった。子どもは高い数値出ると言われるが何故か。	上川崎	女	30
WBCの型式(立位式、椅子式など)によりますが、椅子式であれば、市のWBCと同様、腰から背中部分に検出器があります。その測定値から全身量を求めるためには、いくつかの補正が必要です。 WBCはもともと、原発作業員などの成人を想定して作られていますので、子どものように身体の幅が狭い(成人の痩せている人も同様)、身長が低いなど、標準的な成人の体型とは異なる場合には、測定できなかったり、実際より高い数値が出てしまうこともあり、正確な値が出ない場合があります。 当市のWBCは、8歳児までの補正を行っていますが、やはり、小さいお子様の場合には参考程度とお考えください。				
55	同じ食事をしている夫は、WBC不検出でした。職場はコンクリートですが、関係ありますか。	上川崎	女	30
今回の測定結果が数百Bq以下で、セシウム137と134の比が大きく異なる場合は測定誤差と考えられ、被ばく量を評価することができません。体内への放射性物質の主な取り込みの原因として考えられるのは、事故初期の3月末あたりまでの呼吸によるものと、事故後の汚染食品を食べた場合によるものです。 現在は空気中に放射性物質はほとんどありませんので、食生活に気を付けていれば体内に放射性物質を取り込むことはほとんど無いと考えられます。 建物がコンクリートの場合は、放射線をさえぎる(遮へい)率が低いので、ご主人の外部被ばく量は、自宅にいる方よりは低くなると思われますが、内部被ばく量とは直接関係はありません。				
56	小6の子ども、セシウム137が172、134が219ベクレルで、3ヶ月で半減するとのことですが、今後の生活で何をしたら良いのか。このまま数字は増え続けるのか。大人になってからのことが心配です。	杉田	男	60
どちらも検出下限値以下であること。事故当初セシウム137と134の放出比率は1対1とされており、現在は、134が半減期2年のため、137が1に対して134は0.7程度の比率と推測されます。このため、比率も少ないはずの134が多い数値ですので、誤差の範囲と考えられます。 なお、微量取り込んでいたとしても、半分は約100日(中学生はもっと早いと思われます)で体外に排出されるといわれておりますので、たまり続けることはありません。食品検査情報を把握しつつ、産地を限定せず、バランス良い食事をし、適度な運動をすることが、リスクを少なくし新陳代謝を良くします。 ただし、内部被ばくに関心を持たず、汚染された食品を食べ続けた場合は、排泄が追いつきませんので危険度が高くなります。食品測定、調理の工夫、情報の収集等を継続することが大切です。				

57	6歳の子が両方数値が出たので心配。入ったものを出すのにはどうしたらよいか教えてください。再検査はいつ頃受けられますか	石井	女	30
測定値が不明の為、ご説明できません。どちらも検出下限値以上であれば、経過を見るため、再測定のご案内をいたします。(時期はアドバイザーの指示による) 体内に入った放射性物質は、自然に減っていく「物理的半減期」のほか、尿や便などにより体外に排出される「生物学的半減期」がございます。 原発作業員などで、数十mSVなど大量に体内に入った場合に体外に排出しやすくする薬はありますが、現在の市民の内部被ばくレベルでは不要ですので、一般的なバランスの良い食事や適切な睡眠・運動などにより、新陳代謝を活発にすることが重要です。				
58	4歳の子134のみ数値が出た。誤差の範囲で0と言われたが本当に信じて良いのですか。			
前の質問と同様です。現在のWBCはどの機器でも子どもを正確に測定することは困難なようです。 当市では、下限値以下であっても数値が出た場合はすべて公表するという対応しており、信じていただけるよう情報公開に努めております。市民の皆様にお任せする意外にございません。				
59	結果に±の表記があつて数値がわかりません。			
記入された数値の幅で、誤差が見込まれる測定値です。例えば159±58と記入あった場合⇒誤差の範囲であると想定されますが、101～217ベクレル程度の測定値になりました。との意味です。				
60	検出下限値を超えた19人の預託実効線量は？安全か？			
預託実効線量は、19名中一番若いため危険度が高いと想定される中学生については0.204mSV、一番高い成人でも0.35mSVと、全員1mSV以下ですので、十分に低い値です。しかし、食物による内部被ばくリスクはまだ続きますので、飲食物の測定や調理の工夫、吸入の予防などの対応をしていただきながら、定期的な測定を予定しております。 なお、内部と外部被ばくを合わせて総合的に判断することが必要です。				
61	母親の内部被ばくが、0.6mSV程度で、震災後生まれた子どもを母乳で育てていますが、子どもの外部被ばく、母乳からの内部被ばくはどうでしょうか。	小浜	男	30
お母さんが市外でWBC測定し、預託実効線量が0.6mSVであったということは、測定値が数千ベクレルあったということでしょうか？それとも外部被ばく線量でしょうか？(当市においては、1月10日までに検出下限値を超えた方19名の預託実行線量の最高値は0.3mSV程度でした) 内部被ばくであった場合、放射性物質が母乳に入っているかどうかは、母乳離乳開始前の方を優先に、個別通知で検査を開始いたしましたので、ご相談願います。 実効線量は、厳密には、いつどんな方法で放射性物質を取り込んだか、何日経過しているか、排泄率を何で設定するかなどにより摂取量を評価して計算されます。 なお、外部被ばくは室内や移動先の空間放射線量により異なります。				
62	数値に目安はあるのか。友人の妻が、妊娠7ヶ月で被ばくして(生まれた子どもに?)心臓に穴が開いていたのですが、確率について教えてください。	郡山市	男	50
内部被ばくの測定値の基準値はありません。 各測定器の検出下限値の設定はございますが、その数値は機器の種類や設置場所の空間放射線量などのバックグラウンドにより差があり、厳密には毎日異なります。 原発事故以前の先天性の奇形の発生率は約3%(小さい奇形等も含むと約5%とも言われ約20人に1人)と言われており、心臓奇形は最も多く約1%(約100人に1人)。 先天性奇形の約60～70%は原因不明です。また原因とされているものには、ウイルス・細菌などによる感染症、薬剤、タバコや酒・食品添加物・大気汚染などによる有害成分、染色体や遺伝子異常など、様々な原因が考えられます。 心臓奇形の内容については、自然に治り日常生活に何の制限も無い軽症のものから、すぐに手術が必要な重症例まで様々です。 心臓に穴があく病気の多くは、形を決定する妊娠初期(5～12週目頃)に発生しますが、ご相談のお友達の奥様の被ばくと子どもの心臓奇形の関連ですが、その方がどこでどんな状況で放射性物質を取り込んだと想定されるか、どのような被ばく検査法か・測定結果が不明、心臓の診断名が不明の為被ばくとの因果関係はわかりません。				
63	500ベクレル検出された場合、それは何SV被ばくしたことになるのか。その計算は、減っていくものとして計算しているのか、計算する上での前提条件を知りたい	石井	男	40
ほかの質問と同様、核種別測定値や年齢等が不明ですのでお答えできません。 WBCのセシウム測定値は、背中から腰部に残留している放射性物質の量(ベクレル数)です。この測定結果から全身の体内残留量を求めます。成人と小児の体型別に補正を行っていますが、現状では8才以下の体型では補正が適確にできません。 補正して得られた全身残留量から、さらに被ばく線量に換算しますが、年齢区分別に代謝率などを考慮した換算係数が用いられています。この換算係数は、放射性物質の種類や体内への摂取経路により異なります。 今回の場合は、最大の換算係数である吸入摂取の値を用い、事故日にさかのぼって一度に大量に吸いこんだものとして計算しており、最大の被ばくの可能性として評価しています。意味のある測定値とされた場合、受診者の年齢等により預託実効線量が計算されます。				

64	ベクレルで報道されますが、どう危険なのか教えていただきたい。	石井	男	50
ベクレルは、放射性物質を出す能力です。高いベクレルのものであっても、極端な場合、近寄らなければ直接的な影響はありません。放射性物質を出している量、その物質との距離、放射線を浴びる時間、が危険度に関連します。				
65	現在妊娠中です。数値が高い場合は、どんな対策が必要か、効果的な対策はありますか。			
測定値やその時の生活状況により対応が異なる為、ご説明ができません。しかし、通常お母さんの体にとって、赤ちゃんは「半分ご主人の遺伝子を持った異物」であるため、お母さんのからだは、赤ちゃんを排除しないよう、免疫の働きを弱めて妊娠を維持させています。このため、妊婦は病気にかかりやすく、治りにくくなるといわれております。 現在の当市民の被ばくの実態を考慮した場合、一般的な感染症予防対策などの妊婦健康管理のほか、通常の外部被ばくや内部被ばくを少なくする生活(過ごす場所・食べ物に注意する、一時的な避難等もそのひとつ)を心がけることで十分と思われます。				
66	大人と子どもと分けて危険値を設定しているのか、同じなのか			
WBCの測定値は、背中～腰部に残っている放射性物質の量(ベクレル数)です。この測定結果から全身の体内残留量を求めます。成人と小児の体型別に補正を行っていますが、現状では8才以下の体型では補正が適確にできません。 補正して得られた全身残留量から、さらに被ばく線量に換算しますが、年齢区分別に代謝率などを考慮した換算係数が用いられています。WBCの測定値そのものは、成人・子どもの区別はしていません。 ただし、下限値以上の数値が検出された場合、乳幼児や子どもの危険度が高いので「預託実行線量」は高くなります。				
67	3月12日～20日までの初期被ばくを調べようとしないう。 一番高い時期のセシウム放出時期から89日過ぎている。正しい被ばく量になっていない。	石井	男	50
初期の内部被ばく量測定については、何度も県や国に要求してまいりましたが、不可能でしたので、市独自に6月末やっ と県外で測定し、一部の内部被ばくの実態が把握できたものです。(初期被ばくの実態は、浪江町の一部町民データが判 明したようです)なお、初期の外部被ばくは、県民健康管理調査基礎調査の中で行動記録表を記入いただくと、個人ごと の外部被ばく量を積算して返送されますので、未提出の方はこれからでも提出願います。内部被ばくの評価につきまして は、さきの回答を参考にしてください。				
68	本宮市は子ども・大人も200ベクレル以下は数値を教えてもらえないと聞いた。当市はどう か。	油井	女	
WBCの測定結果が検出下限値以下で、134Csと137Csの比が大きく異なる場合は測定誤差の範囲と考えられ、被ばく量 を正に評価することができません。そのために、測定結果をお渡ししていないのだと思います。 当市のWBC測定も同様ですが、評価することが不可能な場合(測定誤差)でも、測定事実としてそのままお渡ししてご説明 しています。				
69	今後継続的に受けるようになるのですか	小浜	女	40
70	再測定は、いつ頃になるのか。定期的な間隔は。	杉田	男	40
初回測定が開始されたばかりですので、再測定の時期は未定ですが、現在の空間放射線量値などから、定期的な測定 が必要と思われます。 また、検出下限値以上の数値が出た方なども、減少状況を確認する為、定期的な測定が必要です。時期については、放 射線専門家チームより助言いただきながら実施いたします。				
71	障害児の為、3分じっとしていられないが、どのような対策をとるのか	杉田	女	30
72	測定時動いてしまうとちゃんと測れませんか			
できるかどうか、まず実施してみましょう。お子さんへの説明や介助のしかたなど保護者の皆様とご相談しながら勧めたい と思いますので、申し込み時にご相談願います。なお、携帯型のWBCの測定を検討しても良いかと思います。				
73	県民健康調査を書いていないと受けられないのか			
記入がなくても受けられますが、原発事故後の行動記録をとっておくことは、今後のご自分やお子様の健康管理をしてい く上で大変重要です。WBCやバッジの測定のみでは、たとえ今後健康被害を疑った場合でも、生活記録が無ければ十分と はいえません。 また、調査票を提出することにより、個人ごとに滞在場所や時間による外部被ばく積算線量も推計され健康管理ファイル として戻ってきます。 放射線との付き合いは始まったばかりです。今後日本国民は何十年も付き合い続けていかなければいけないものです、今から でも遅くありませんので、記入し県に提出しましょう。				
74	舞い上がりによる吸入被ばくはどうか。	石井	男	50
現在、空気中に放射性物質は殆ど無いとされておりますが、土などに吸着した放射線物質が強い風などにより舞い上が ることはありますので、風の強い日などは、外出を控える、マスクをする、外出後の着替え、手洗いをする、洗濯物は外に 干さないなどの対応に心がけましょう。				
75	朝日新聞に京大研究で内部被ばく4ベクレル…と出て、1/10以下で安心OKのようにありま したが、外部被ばくもある福島の人に、1/10以下で、安心と言い切れるのか	岳下	女	40
朝日新聞掲載の、京大大で実施した53人(県内26人)について家族一人の一日の食事検査の結果、18家族は検出下 限値以下、検出者のうち県内者の中央値が、4月からの新基準の40ベクレルの10分の1の、4ベクレルだったと言う記事 のことと思われます。実際に4ベクレルであれば、心配ない数値と思われます。(事故前の輸入食品の基準値より少ない) 化学物質等があふれている現代では、放射線のみゼロリスクを追求することの意味は低いと思われます。しかし、どの 食品が汚染されていたのかなど、引き続き食品測定しながら、被ばくの低減化を進めていくことが必要です。				

76	スギ花粉のシーズンにはどのような対応をされるのでしょうか。			
「スギ花粉からセシウム250,000ベクレル検出」などと報道されると、心配になりますが、通常放射線量測定は1kgあたりの数値ですので、花粉を吸い込む量が1回の外出で1gにも満たないと想定されます。(花粉一個の大きさ20~40μmです。1μm=1000分の1mm。比重が0.7の為、一升瓶1本分の花粉の重さは1.2~1.3kg) 2月8日林野庁から発表された県内132箇所の調査結果によりますと、セシウム134+137で最高250,000ベクレル(浪江町)、当市は4箇所で508~1,700ベクレルでした。花粉飛散期間における、成人の吸い込みによる最大累計放射線量は0.000553mSVと、十分に低い数値であります。また、現在市販されているマスクは、花粉やウイルスの入らない物も市販されておりますので、吸い込まないように十分個人対応が可能と思われます。なお、従来からの花粉症の対応や風が強い日の放射線対策などと同様、マスクや帽子の着用、洗濯物の中干し、外出後衣類のほこりを払う、手洗いの励行などを行いましょう。(インフルエンザなど、感染性の病気の予防とほぼ同様の対応です)				
77	福島市で測っている定期降下物が増えているが、マスクはしたほうが良いのか			
78	年末~年始にかけて、空気中のセシウムの量が増加しているとのことだが、洗濯物は外干しすべきでないのでは。			
事故発生により放射性物質が大量に放出された後、わずかずつの放出があり、この放出は一定ではなく変動していました。現在はほとんど放出はありません。また、地上に降下した放射性物質も降雨などにより移動しますので、それらに伴って、空間線量率も変化します。継続的なモニタリングが重要ですので、各地で測定が実施されています。 年末~年始にかけて、福島市の一部の場所の空気中のセシウムの量の変化がありましたが、測定機器内へ明らかに土の混入が観測されたことによるとの結果で、他の箇所では確認されていません。 したがって、通常は洗濯物の外干しも可能ですが、風の強い日など砂や花粉の舞い上がりが予想されるような日は、室内干しすることをお勧めします。				
79	これから、市民全員に健康手帳などを作ってもらうことは可能か			
現在、がん検診・特定検診等結果が記入でき、40歳から64歳までの方に配付している健康手帳に、放射線量記録として外部・内部被ばく線量記録等も記載可能な「市民健康手帳」を作成し、全市民に配付を計画しております。				
80	チェリノブイリ事故の低線量地域のデータは無いのですか？	上川崎	女	30
データはあるようですが、その評価については様々な論文があるようです。当市の放射線専門家チームの先生方は、文献評価のみでなく、実際に現在もチェリノブイリにて活動をされておりますので、市においては、そのご意見・ご助言を踏まえた上で、より安全側に立った姿勢で取り組んでおります。				
81	チェリノブイリ事故の健康調査について、被ばくした本人のがん発生率は理解できました。今後、結婚・出産した子どもについて、奇形や遺伝子異常等の発生等について、教えていただきたいです。今、中学生の子どもの結婚・出産を心配しています。	油井	女	40
放射線専門家チームの木村真三先生の専門は放射線防護学ですが、これまでの研究結果により、以下の報告をいただきました。 遺伝的影響は、早くて5世代以降に出ると考えられます。この概念は、放射線遺伝学と言う分野で実験的に進められています。今回の当市の被ばくのレベルでは、10から数10世代以降に出現すると考えます。しかも、その影響は、本人も回りの人も気づかないレベルであり、ほんのわずかな運動能力が低いなどです。子どもさんの結婚は問題ありませんし、出産を希望されるなら子どももつくるべきです。				
82	妊娠・出産について、先天性疾患・奇形の増加は報告されていないのか？			
チェリノブイリ事故後、先天性疾患が増加したという報告と、変わらないという報告があるようですが、当時の妊婦さんがどの程度被ばくしており、どんな生活をしていたのか、その被ばく量により増加したのかどうかという因果関係が証明されるような研究報告については把握しておりません。今後も情報収集に努めてまいります。				
83	福島県において、子供を生み育てることに何の支障も無いのでしょうか？有るとすればどんな点か。無いとすればその事を広く伝えて欲しいです。	杉田	女	40
原発事故以前は、多くの方は、子どもを生み育てることに何の支障も感じていなかった方が殆どではなかったかと思えます。しかし、病院や市の両親学級などにおいて説明しておりますが、そもそも妊娠・出産の際には、感染症、タバコ、酒、母の年齢、薬剤内服、食品添加物、ストレス等あらゆるリスクがあります。これらに加え残念ながら望んでいない「放射線」が全員に追加されたと言うことです。 福島に住む・住まないに関わらず、妊娠前から健康な体作りや学習が必要です。				
84	これから妊娠可能性のある女性についての被ばくの影響をどのように考えてよいのか		女	50
胎児が放射線の影響を受けやすいといわれており、女性の被ばくが重視されていますが、男女に関わらず、これから妊娠・出産・子育てをしていく若い世代の方には、被ばく実態の測定と被ばくの低減化に努めることが重要です。				
85	3月15日二本松、3月21日は千葉で被ばくしてしまった。1歳の子が心配。24時間換気システムを回しても良いか。	油井	女	30
今回の原発事故による放射性物質の漏えい・拡散は全国、世界中に広がっていますが、実際の被ばくの実態は、継続して測定していかないとわかりません。乳幼児WBCの順番をお待ちください。換気システムについては、以下のとおりです。				
86	24時間換気システムの家に住んでいる。	大平	女	50
現在は、大気中に放射性物質はほとんど漂っていません。事故後の5月以降に吸気側のフィルターを交換していれば気にしなくても良いかと思えます。				

87	甲状腺機能低下症があるが、影響はあるのか。今後の健康診断はどうすればよいのか。	二本松	男	40
病気の経過や現状が不明でし、原発事故後のあなたの生活状況も不明の為、影響の有無は判断できません。行動記録をきちんと記入し、主治医とよくご相談のうえ治療や健康診断をお受けください。				
88	小3の子どもが肺炎などによりX線撮影した場合、同じように被ばく量があったということか。今からでも、県外に避難すれば、今までの被ばくを改善できるのか。	岳下	女	30
同じ肺炎でも、照射部位や照射の条件設定、回数などにより同じにはなりません。日本は世界で有数の医療被ばくが多い国であることで有名ですが、医療被ばくは、撮影によるメリットと、被ばくのリスクをはかりにかけて、撮影が有益である場合に実施しておりますので、被ばく基準量はありません。むやみに検査や健診を避けず、主治医と十分に相談してください。 県外など、線量が低い地域で短期でも長期でも過ごすことは、親子ともに外遊びが十分にでき、精神的な開放感を得ることによる免疫力の向上や運動量の増加などにより代謝が活発になる、汚染された食品を食べるリスクが減少するなどのメリットが見込まれます。市や県のリフレッシュ事業なども有効活用ください。				
89	この先ずっと県内で生活していくことが不安。10年・20年と長期で考えた場合、事故以前より受ける放射線の積算はどんどん増えていく。年間1mSVとというのは、50年住み続けて50mSVでも大丈夫ということか。			
「Fukushima」は汚染されてしまっているという不安が大きいのですね。これは市民全員が感じている不安だと思います。しかし、ご存知のとおり、会津地方は、原発から100km以上で仙台と同じ程度の距離であったり、県外でも宮城県南部や栃木県北部などは県内同様の汚染があったり、様々な状況です。 原発事故以前にも、核実験が盛んな1960年代の成人男性の内部被ばくは500～600ベクレルあったことが確認されているなど、過去50年間に国内多少の差はありますが、汚染の実態はあったようです。これらの経過や今回の各種測定結果、各ご家庭の生活状況を踏まえてご判断いただいている現状です。いずれにしても、十分な正しい情報を得て、ご家族で納得して対応することが重要です。 放射線内部被ばくの量が溜まり続けるかどうかの考え方は、放射線に関する関心の有無や食べ方・吸い込み方の違い、年齢・体質による排出率の差などにより全く違います。汚染された物を多く食べ続け、排泄が追いつかない場合は、体内に溜まっていくことも想定されます。				
90	地域で除染作業をしたが、完全に任せるのではなく除染指導できる人間を派遣してもらえないか。お金を出せば良いというのでなく、お金を無駄なく使える体制を整えて欲しい。			
除染情報プラザなどから専門家の派遣を検討します。				
91	除染の回数を増やして欲しい。		男	30
線量低減化活動事業継続の見込みがあり、これらを活用しながら除染をすすめます。				
92	民家の除染が今年からスタートするとのことですが、いつ、どの地区からですか早く家の除染をしてほしい。家の中0.4μ、外1μSV。家の中もなかなか減らない。	石井	男	30
線量が比較的高い杉田、石井、小浜地区の子どものいる世帯を優先し進めることとします				
93	ゼオライトの無料配布。一般家庭の除染も早く行って欲しい。いつまでに行うか明確にしてほしい。			
農地の除染においてゼオライトの活用を予定していますが、一般への配布は予定していません。住宅除染は業者を確保しつつ、順次拡大していく考えです。				
94	通学路に対して何もされていない。	石井	男	50
線量低減化事業等、地域の理解を得ながら対応を進めていきます。				
95	家の中の線量が0.2～0.3になった後、どんなに掃除しても変わらない。今後線量を下げる為にどんな方法があるか。			
建物の遮へい率によりますが、屋外に放射性物質が現存していますので、家屋の周りの除染により屋内の線量の減少が見込まれます。				
96	水の検査でヨウ素・セシウム不検出となっているが、その他のアメリシウムやストロンチウム等が入っている恐れが無いのでしょうか。			
現在、市で測定しております項目では測定できません。(専門機関でないと測れません)				
97	食品・環境放射線測定器が各家庭で1個必要と考えますが、ぜひ実現してほしい	杉田	男	60
農産物測定器については台数を増やし充実を図りますが、各戸配置などは予定しておりません。				
98	市の簡易測定で、水道水が40ベクレルあるのだから大丈夫か。	杉田	男	40
簡易測定のため周りの空間放射線量も測定している数値となっています。市の水道水は定期的に検査し放射性物質はふくまれておりませんので、水道水の数値と差がなければ問題ないと判断しています。 それ以上の高い数値が測定された場合は、遮へいされた検査機器で再測定しておりますので、ご安心ください。 なお、測定センター内に多くの人が入り出すことにより、徐々に室内の空間放射線量が高くなってきております。測定センター内に入る場合は、靴の泥を良く落とす、汚れた作業着で入らないなどのご協力をお願いいたします。				

99	市の無料の食品測定は大変助かっています。市内生産限定のようですが、3月15日のブルームの拡がりなどを考慮すると、栃木・茨城・群馬などの農産物も不安なものです。知人からの贈答品なども測定してもらえないか、孫と一緒に食事のため、切実です。	塩沢	女	60
測定器を支所、住民センターに配置し測定数をふやしていきますが、状況をみて対応を検討します。				
100	給食の安全性の確保について、考えを聞かせて欲しい。		女	40
学校給食の安全性の確保については、衛生管理及び栄養管理に努めるとともに福島第一原子力発電所の事故に関連し、園児・児童・生徒の安全を最優先に使用水及び食材について細心の注意を払い実施しています。また、食材に含まれる放射性物質について下記のとおり検査を実施し、安全・安心な給食の提供に努めています。 (放射性物質の検査について) 11月：市内全調理場において、できあがった給食まるごとをゲルマニウム半導体検出器にかけ精密な放射性物質の検査を行い、安全性の確認を行いました。(各調理場1回) また、学校給食用牛乳及び使用する米についても同様に検査を行い安全性を確認しました。 12月：市内全調理場において、できあがった給食まるごとまたは食材をゲルマニウム半導体検出器にかけ精密な放射性物質の検査を行い安全性の確認を行いました。(各調理場1回) 1月：市放射性物質測定センターで、各調理場毎に週1回程度1～2品の食材について喫食前にNa Iシンチレーションスペクトロメーターによる簡易の食材の検査を行い安全性の確認を行っています。 ※上記については、検査結果を市HPIに掲載しています。 今後は市内全調理場に放射性物質測定器を順次設置し、給食に使用する食材等について、喫食前に毎日放射性物質の検査をする予定です。 ※検査結果については、市HPIに掲載する予定です。				
101	24年度の学校のプールの使用について心配です。		女	30
学校プールにつきましては、これまでプール内の清掃及び除染を終了いたしました。現在は、プールサイドのブロックやシートの入替えの準備を進めております。 この工事は5月頃までに終了する予定ですが、今年のプールの使用については、空間線量などを確認しながら検討して参ります。				
102	食べ物、ベクレル表示をして売ってほしい。県外産ももっと売ってほしい。肉も国産の表示のみでなく、市まで書いて欲しい。			
流通や販売の有り方については、各種法律等により規制されているものです。 産地表示は参考にはなりますが、ご存知のように、同じ市内でもかなり汚染の状況は異なります。県内産は食べたくないの、市外や県外産を買うという方も多いようですが、お聞きすると意外に県内・市内の食品測定結果は見えていないという方もいるようです。 まずは、細かく計って、安全が確認できた田畑などから出荷・販売・購入・摂取していくことが重要です。逆に他県では、当県に比べて測定していない物も多く、県外産だから安心とは言いきれません。 たとえば、2月下旬の県の豚肉ゲルマニウム検査では、検出下限値が一桁(10未満)で、殆ど未検出となっているようです。 一番高値でもkgあたり30ベクレル程度でしたので、1回に食べる量が100gなら3ベクレル、10gなら0.3ベクレルです。誰がどの程度食べるのか、調理法による低減率や値段などの経済性など、ご家庭に合わせて総合的に考えて判断してください。				
103	希望者には自主避難の補助を出して欲しい。期間限定、県内でもいい。石井地区は特に高いので、このまま住んでいて良いのか悩んでいます。空間線量が高いので、先行地域にしてほしい。			
自主避難者への支援や残る市民への支援も引き続き要望してまいります。なお、市独自の妊婦や子どものリフレッシュ事業もご活用ください。石井地区のWBCは測定を開始いたしましたので、お待ち願います。				
104	年間概算で1mSVを超える人数が多数だが、これは法律違反である。国や東電の対応が不誠実で許されることではない。市民の声として税金を納めているものとして強く訴えて、泣き寝入りをしたくないようにしたい。そうでなければ税金を納めたくない気持ちでいっぱいだ。	油井	女	30
105	国、東電に対して市長、特に県知事はおとなしすぎる。			
マスコミ等での報道がないと市民の皆様に見えにくいと思いますが、市としてあらゆる場面で申し入れをしており、今後も続けてまいります。 市民の皆様からも、あらゆる場面での申し入れをお願いいたします。				